

県医師会理事会記事

平成26年度第9回常任理事会

(平成26年5月27日)

平松会長 挨拶



皆さんこんばんは。今日は蒸し暑い気がします。天候は雨も上がり、まずまずの過ごしやすさではないでしょうか。

来週の6月8日(日)は広島県医師会の代議員会ですが、私も今は挨拶を考えているところであります。代議員の先生方あるいは会員の先生方に、過去2年間に私たち執行部が行ってきたことを十分に説明しまして、不足は今後に託したいと考えております。

県医師会のあり方検討委員会で県医師会のあり方を考えていくと、この2年間言ってきましたが、早くできなかったことは反省をしております。しかし、この2年間を十分に再確認する時間を与えられたのではないかと感じます。

いろんな物事を決定する場合、早い決断は良いこともあります。あまりにも即断的ではない場合もあります。物によっては十分に調べ考えれば、また違う解決方法もあることに気付くこともあり、考え悩んでいる内に、思わぬ解決方法が見つかることもあります。

これは皆さんご存じ聖徳太子の17条憲法です。私はこの文章が好きなのですが、皆さんこれももう1回読み直してみてください。心が救われるような気がします。少し読んでみます。

「人皆心あり。心おのおの執れることあり。」執ることがありとは、執着するという意味で、それぞれの人間は心が有って、いろんな事に執着する傾向があるという意味です。

そして、例を上げまして、「^{かれよし}彼是^{すなわ}んずれば^{あし}則ち我は非とす。」これは、ある人がある事を是といえ、私はそれを非と言ってしまう。その逆に「^{われよし}我是とすれば^{かれよし}則ち彼は非とす。」私が是とすれば、彼は非と言ってしまう。「我必ず^{ひじり}聖にあらず。彼必ず^く愚にあらず。」私が必ずしも聖でもなく彼が愚かでもない。「共にこれ凡夫のみ。是非の理なんぞよく定むべき。」みな共に凡人である。これはいい、これはよくないと誰が定められるだろう。「相共に賢愚なること。鑽^{みみがね}の端な

きがごとし」お互いに賢くてそして愚かであることは、耳輪に端がないようなものだ。と言っています。

われわれの医師会でも、いろんな意見がございいますが、みんなの意見を取り入れて、平均的で正当な結論を出していこうと思いますが、そのためには時間がかかります。即断をしてはいけないということでもあります。

ユリウス暦604年に制定された聖徳太子の17条憲法のことを、私も執筆した本の中に書いておりますが、17条憲法は決して国民に向けた憲法ではなく、国民がこれを理解することができない当時では、管理者のための行動規範なのです。宮廷や官邸あるいは、地方に配属した官僚たちの行動規範のようでもあります。

われわれも時には17条憲法を読み直してみるのも良いのではないかと思います。非常に柔軟性のある考え方で心が救われます。

協議事項

- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (平川常任理事)
36件、原案どおりすべて承認
- ・広島F・DOファンクラブ法人会員の更新の件 (水野常任理事)
フットサルのクラブである同クラブ法人会員の更新を承認
- ・東広島医療センター・東広島地区医師会第384回合同カンファレンスの補助金の件 (水野常任理事)
規定どおり補助金を承認
- ・広島医学の購読料・掲載料・広告掲載料の改正についての件 (平川常任理事)
外税に変更、変更時期は医師会速報と同期
- ・日本医師会医療秘書認定試験における出題候補者の推薦の件 (有田常任理事)
原案どおり出題者を推薦
- ・広島県治験等活性化検討会の設置及び委員の委嘱の件 (温泉川常任理事)
平川常任理事を推薦
- ・広島県総合計画審議会委員の委嘱の件 (温泉川常任理事)
平松会長を推薦
- ・平成26年度健康づくりポスター選考委員の委嘱の件 (温泉川常任理事)
小笠原常任理事を推薦
- ・減塩レシピ集作成事業に係る担当団体への就任の件 (渡邊常任理事)

- 渡辺常任理事を推薦
- ・第19回広島県理学療法士学会の後援の件
(平川常任理事)
後援を承認
 - ・第29回リハ工学カンファレンスinひろしまの後援の件
(温泉川常任理事)
後援を承認
 - ・第10回認知症ハート・フォーラムの後援の件
(大谷常任理事)
後援を承認
 - ・速報封筒の下段の文言の件
(小笠原常任理事)
HMネット推進の文言に変更を承認
 - ・平成26年度医療介護従事者のためのマネジメント講座の件
(温泉川常任理事)
速報掲載を承認
 - ・議事運営委員会規則の改定の件
(温泉川常任理事)
改定原案を承認
 - ・秘密保護法の廃止を求める署名活動の件
(温泉川常任理事)
広島弁護士会からの依頼で署名活動に協力
 - ・広島県獣医師会の学術的協力の推進に関する協定書の件
(温泉川常任理事)
協定書を承認
 - ・消費税率引上げに伴う平成25年度契約に基づく特定保健指導の費用の覚書(被用者保険)の件
(大谷常任理事)
覚書を承認
 - ・役員夏の賞与の件
(温泉川常任理事)
原案を承認
 - ・役員出張申請の件
(温泉川常任理事)
原案を承認
- センターの指定管理者の決定、月別実績、施設委託業務の状況報告および今後の設備更新計画、命名権導入などについて協議した。
- ・5月25日、広島県柔道整復師会平成26年度通常総会
(平松会長)
出席し来賓祝辞を述べた。
 - ・5月26日、IAEA協働センター指定記念式典・記念セミナー
(平松会長)
認証プレート授与、挨拶、記念撮影などが行われた。
 - ・5月22日、新たな財政支援制度における団体間調整会議
(檜谷副会長)
新たな財政支援制度(新基金)について、四師会で標記会議を開催し、今後のスケジュールや提案事業について情報共有を行った。事業の優先順位については調整が難しいため、各事業について判断基準となる部分を照会し、第2回検討委員会で協議することを申し合わせた。
 - ・5月26日、平成26年度第1回広島医師会館管理常務委員会
(檜谷副会長)
今年度第1回目の広島医師会館管理常務委員会が開催され、PCBの処理、平成25年度の会館管理収支状況について報告・協議が行われた。
 - ・5月21日、地対協 ACPを勧めるための説明及び研修会
(有田常任理事)
昨年度作成したアドバンス・ケア・プランニングのツールを検証・評価するため、今年度モデル的に使用していただく東広島地区で会員や医療・介護関係者を対象に、アドバンス・ケア・プランニングの意義やツールについて説明を行った。
 - ・5月22日、廣島医学編集委員会
(平川常任理事)
67巻6号以降の掲載原稿の掲載採否および編集(原著1編、症例報告6編、再査読図説1編、再査読原著2編、再査読症例報告3編、再再査読症例報告1編の計14編)について協議し、うち10編を採用(修正後採用を含む)とした。
 - ・5月22日、地対協 肺がん早期発見体制WG打合せ
(有田常任理事)

報告事項

- ・5月21日、広島日伯協会総会
(平松会長)
平成25年度事業報告および収支決算報告、平成26年度事業計画案および予算案などについて協議した。
- ・5月22日、原対協常務理事会
(平松会長)
4月事業報告および平成25年度事業報告・決算報告などを協議した。
- ・5月22日、平成26年度第1回広島市総合健康センター施設管理委員会及び施設管理実務委員会
(平松会長)
平成26~29年度における広島市健康づくり

- 今年度の事業実施にあたり、技術ワークショップ会場となっている三原市医師会病院と打合せを行った。ワークショップでの実施内容とともに、三原市医師会病院で今後実施予定の低線量CT検診の概要や現況について意見交換した。
- ・5月22日、ひろしま医療情報ネットワーク整備検討委員会(牛尾常任理事)
「ひろしま医療情報ネットワーク」整備検討委員会を志田原委員長の司会進行のもと開催し、牛尾常任理事の挨拶に続いて、平成26年度事業の事業計画の報告、平成26年度の事務およびSE業務の委託契約について協議を行った。また、その後意見交換を行った。
 - ・5月22日、個別指導立会(大谷常任理事)
1件の情報提供による個別指導に立会、訪問診療の算定など指摘事項に対して確認を行った。
 - ・5月23・24日、第30回日本救急医学会中国四国地方会(山田・野間常任理事)
高知医療センターの喜多村泰輔先生を会長に、標記会が開催された。評議員会では各種報告に加えて会則変更について協議を行った。地方会では、ICTの導入による今後の救急医療の展望や南海トラフ大震災に対する中国四国の備えについてシンポジウムが行われたほか、災害における病院のBCPと題した特別講演が行われた。
 - ・5月23日、第35回広島感染症研究会(渡邊常任理事)
「感染症対策とサーベイランス」と題して、マツダ病院での院内感染対策について、「感染症診療における遺伝子検査の活用術」と題して、病原体特定の意義や遺伝子検査の活用術、臨床医と検査側の緊密な連携の重要性について講演があった。
 - ・5月23日、有床診療所部会勉強会(大谷常任理事)
平成26年度診療報酬改定と現在見直しが検討されている有床診の火災対策について部会として初めて勉強会を開催した。事前に参加者から寄せられた火災対策・診療報酬の質問に対して講師から回答をいただいた。
 - ・5月24・25日、子育て応援団すこやか2014(渡邊常任理事)
5月24日(土)、25日(日)の両日、11周年を迎える「子育て応援団すこやか2014」が開催され、今年も健康チェックや健康相談などを行う「サポートゾーン」へ出展・協力した。当日の来場者は、親子連れなど計40,195名(1日目…17,661名、2日目…22,534名)であった。
 - ・5月25日、第32回勤務医ゴルフ大会(山田常任理事)
第32回広島県医師会勤務医ゴルフ大会を賀茂カントリークラブで開催し、個人戦ならびに団体戦(10チーム)で競技した。当日は県内各地から67名の参加があった。
 - ・5月26日、第1回議事運営委員会(温泉川常任理事)
6月8日(日)の「第113回定例代議員会」開催に向けて、第1回議事運営委員会を開催した。「議事運営委員会決定事項(案)」について協議した結果、「議長・副議長一任」となり、翌日、議長・副議長と再調整して決定し、代議員及び市郡地区医師会長宛てに通知することとなった。
 - ・5月27日、広島県社会福祉協議会第191回理事会(大谷常任理事)
平成25年度一般会計および特別会計決算、評議員の選任、規程の一部改定などを協議した。
 - ・協力貯蓄に関する覚書・合意書の件(水野常任理事)
広島銀行、もみじ銀行、みずほ銀行との覚書を報告
 - ・医師たちによるクリスマス・チャリティーコンサートについて(温泉川常任理事)
日本医師会主催のチャリティー音楽会で、速報に掲載し広報する